

# Tabula • rasa

タブラ・ラサ

梅光学院大学図書館学生広報誌

第19号



\* 図書館と共に  
歩み続ける \*

# 目次

p.2 目次

p.3 ごあいさつ・Tabula・rasa  
図書館サポーター

p.4 活動報告 2013.11～  
2014.11

p.6 四年生から今伝える  
メッセージ・編集後記



梅光学院大学図書館  
公式マスコットキャラクター  
ライブラリアン13世 (愛称らいちゃん)

ごあいさつ

この度は「Tabula rasa」を手にとっていただき、誠にありがとうございます。  
第 19 号では、私たちが 2014 年に行ってきた活動を載せております。どのような活動をしていたのか、少しでも興味を持っていただけたら幸いです。  
図書館サポーターの 1 年間をぜひご覧ください。

前図書館サポーター長  
文学部日本文学科 4 年 吉村奏美

「Tabula・rasa」発行に際して

図書館サポーター広報誌「Tabula・rasa」は、2005 年に「図書館新聞」として創刊されたものが前身となります。タイトル「Tabula・rasa」は社会規約説を唱えたジョン・ロックの言葉で、ラテン語で「白紙」を意味します。

「生まれたとき人は皆白紙である。そこに、経験によって様々な観念が書き込まれる」

私たち図書館サポーターも「白紙」に書き込んでいくように活動の幅を広げていき、多くの経験をしていければ、そのような想いが込められています。

図書館サポーターとは

学生目線で図書館をより良くしていこうと活動する、梅光学院大学図書館のボランティア団体です。POP（書店や図書館などに並べられている紙にキャッチコピーやイラストを載せた広告）を作って展示したり、オープンキャンパスで図書館案内をしたりしています。

活動内容はその年によって変化していきますが、利用者一人一人に居心地がいい図書館だと感じていただけることを目指して、日々活動に励んでいます。

# 活動報告

2013.11~2014.11

## 新体制 start

- \* 第三回ブックハンティング
- \* POP 勉強会



- \* 小学校へPOP講演会
- \* ブックハンティング本棚入れ
- \* 講演会に向け別府さんの本POP作成



- \* 就活本棚入れ替え
- \* 展示本わかりやすいように目印をつける





© Wippi4

# 春

- \*学友会オリエンテーション
- \*部活・サークル勧誘期間
- \*新入生歓迎会
- \*学生図書館案内
- \*ルーキス祭の出店決め



# 夏



- \*シンポジウムテーマを考える
- \*POP 展示
- \*しおり作成

- \*POP 展示
- \*オープンキャンパス
- \*シンポジウム会議
- \*第四回大学図書館  
学生協働交流シンポジウム



# 秋

- \*POP 展示
- \*オープンキャンパス
- \*ルーキス祭準備
- \*引き継ぎ
- \*第13回ルーキス祭
- \*三年生引退



ふむふむ...



© Wippi4



# 四年生から今伝えるメッセージ

図書館サポーターという馴染みのない組織に興味を持ったのは、私が入学してすぐのことです。好奇心のままに所属し、気が付けば二年生時は副サポーター一長として、三年生時はサポーター一長として及ばずながら活動してきました。楽しかった事、学んだ事、苦勞した事、反省する事、多くありましたが大変価値のある経験になったと思います。今までの活動が、少しでも今後の図書館サポーターのお役に立てば嬉しいです。

前図書館サポーター一長 文学部日本文学科 吉村奏美

三年間を振り返ると長かったような短かったような不思議な気持ちです。先輩方のご指導の下、活動をしている時期はとても大切な時間でした。三年生になり引っ張っていく側になったときに学んだ苦勞したこと、反省したこと多くが自分にとって大切な経験です。

副サポーター一長としてできたことはあまりにも少ないですが、ここで学んだことを今後活かしていければと思います。

今後の図書館サポーター活動にお役に立てていければ幸いです。

前図書館サポーター副長 文学部日本文学科 濱田智礼

幾つかの団体を掛け持ちしていた私が図書館サポーターとして活動した時間は、同学年の仲間達に比べ、大変わずかな時間だったように思います。全員が忙しいにも関わらず、いつも自宅が遠いことや、掛け持ち団体のことを気にかけてくれる仲間達の真心に、幾度となく救われました。

サポーター内の活動で最も刺激を受けたのは、他大学との交流ができる「図書館シンポジウム」でした。1年生、2年生で参加し、壇上に上がる機会も与えて頂きました。目標とする図書館の姿は大学ごと各県ごとに大きく違います。図書館見学では資金の問題にも初めて直面。大きな数字を目の当たりにし、そこまでは考えていなかった自分に焦りを覚えました。

図書館を日常的に利用している学生は多くないかもしれません。様々な理由があって図書館を利用しない皆さん、どうしたら魅力的になるのか、何気なく考えてみて下さい。一番欲しいのは興味です。もしかしたら、あなたの大好きな場所にできるかも。そんな可能性を信じている背中を、見つけて頂けると幸いです。

図書館サポーター 文学部日本文学科 大浦和

私が一番印象に残ったのは文化祭です。

今年はどう焼きを作ったのですが、企画から販売まで、みんなと相談し、一つ一つ決めていきました。文化祭当日に完売したと聞いたときは、とても嬉しかったです。

図書館サポーターの活動に関わってくださった全ての方にこの場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

図書館サポーター 文学部日本文学科 田村 実可

## 編集後記

まずは、「Tabula・rasa」を読んでいただきありがとうございます。

「Tabula・rasa」の製作にあたり、今までの活動から自身を、そして組織としての図書館サポーターを客観的に見ることが出来ました。サポーター全員が己の成長を感じたことだろうと思います。それも、皆さまの温かいご支援あつてのことです。

至らぬ点の多い私どもではございますが、今後とも図書館サポーターを見守っていただけると幸いです。皆さまのお声を是非、図書館サポーターにお聞かせください。

梅光学院大学図書館サポーター広報誌「Tabula・rasa」第19号

発行日：2015年8月5日

編集：梅光学院大学図書館サポーター

発行：梅光学院大学図書館サポーター